

国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

(報告)

議員名：日本生活協同組合連合会 河野恵美子

【開催趣旨・目的】

国の第3次男女共同参画基本計画が策定され、さまざまな局面においてより実効性をもった取り組みが求められている。男女共同参画社会を目指していくために、これからの地域社会づくりや、地域の活性化には、男女共同参画の視点での実践、女性のパワーを活用していくことが不可欠であることを理解するとともに、女性が活動する上でのヒントを得る。

【シンポジウム等の名称・テーマ】

- ・名称「女性の経済活動セミナー」
- ・テーマ「女性がつくる、地域の元気」

【日時】平成23年11月23日（水・祝）13：15～16：40

【場所】チサンホテル新大阪

【参加者数】92名

【プログラム】

- | | |
|-------|--|
| 13:15 | 開会、開会挨拶 |
| 13:20 | 内閣府報告
「第3次男女共同参画基本計画について」
中垣 陽子 氏 内閣府男女共同参画局調査課長 |
| 13:35 | 基調講演
「人口減少時代における地域・経済の課題と、地域社会づくり・活性化へのヒント ～女性の活力をどう生かしていくか～」
藻谷 浩介 氏
(株)日本政策投資銀行地域企画部地域振興グループ参事役
NPO法人 コンパス地域経営支援ネットワーク理事長 |
| 14:50 | 休憩 |
| 15:00 | 事例発表・パネルディスカッション
「地域で女性が活躍するためには」
【コーディネーター】
藻谷 浩介氏
(株)日本政策投資銀行地域企画部地域振興グループ参事役
NPO法人 コンパス地域経営支援ネットワーク理事長
【パネリスト】
高 亜希 氏 NPO法人ノーベル代表 理事
仲川 順子 氏 NPO法人奈良NPOセンター 理事長
松宮 幹雄 氏 福井県民生協 専務理事
谷 美代子 氏 NPO法人友・遊 代表 |
| 16:35 | 主催者まとめ |
| 16:40 | 閉会 |

【参加者からの主な意見】

- ・ 分かりやすく解説して頂いたので、世の中の事が見えました。テレビでのニュースだけでは、未来は暗く、日本はこれからどんどん沈んでいくのかと感じられるばかりでしたが、女性も働き続けることができる、様々な取り組みが進めばきっと明るい日本になると思いました。退職男性の家事参加”拍手”です！！
- ・ 年齢別人口が今後10年後、20年後どうなっていくのか、その高齢人口社会にあった事業のやり方を考えていかなければ。女性の社会進出が今後の日本を変えていくことになるんだなと感じた。
- ・ 女性だから持ちえる事が可能な分野で活躍している方々の起業、NPOが共感することから生み出されることが確信できました。肯定してくれるまわりの人間関係を形成するためにも、経済的な自立が可能になるように、施策は重要だと思います。
- ・ 地域というくらしの場で女性がソーシャルビジネスを創出する可能性と将来性に明るい光を感じる。

【シンポジウム等を通して得た成果（効果）】

男女共同参画の推進課題の中でも今回は、「女性の経済活動」にポイントを絞り、講演会を開催した。

基調講演では「人口減少時代における地域・経済の課題と、地域社会づくり・活性化へのヒント ～女性の活力をどう生かしていくか～」のテーマのもと、著書「デフレの正体」がベストセラーとして注目され、マスコミ等でも大変ご活躍されている、藻谷浩介氏をお迎えし、今後の女性の経済活動活性化へのヒント等についての具体的な講演がなされた。

パネルディスカッションでは、「地域で女性が活躍するためには」のテーマのもと、各パネラーの方々のこれまでの実体験をもとにさまざまなディスカッションが行われ、大変有意義な時間となった。

アンケート結果からも「また機会があれば参加したい」など、講演内容に大変

満足された方が多く見受けられたため、今後も継続して実施することで、更なる普及・啓発に繋がると感じとれる講演会となった。

また、参加者は、生協役職員や組合員のほか、一般の方も参加され、地域社会への発信も行うことができた。

【今後の課題】

「女性の経済活動」の促進が地域の活性化につながるということについての理解をさらに深め、実践につなげていけるよう、日本生協連として会員生協の取組事例などの集約や発信、セミナー開催などを通じて広く啓発等行っていく。

